



志津南ホームページ
http://shizu373.net

発行
志津南学区まちづくり協議会
(事務局) 077-507-6496

まち協だより

第17回理事会 (平成26年3月15日)

- ①平成25年度予算における予備費の決算における処理としては、新しく設ける「若草・岡本西ブロック地区別活動特別会計」に全額を繰り入れることとする。
- ②人権教育推進委員会から各町内会へ支給していた「町内学習懇談会助成金」は、平成26年度から廃止とする。
- ③「若草・岡本西ブロック自主防災連合会規則」「若草・岡本西ブロック地区別活動規則」の制定案が了承され、4月1日からの施行となる。
- ④「志津南地区広報委員会規則」の改正案が了承され、「志津南学区広報委員会規則」として、4月1日からの施行となる。
- ⑤会則の改正案が提示され、大部分については了承されたが、一部の文言の変更については次回の理事会で提示することとなった。
- ⑥第六集会所の水道光熱費の一部を社会福祉協議会が負担しているが、平成26年度からこれを廃止する。

平成10年に志津学区自治連合会から分離独立し、志津南学区自治連合会が発足して以来16年間、若草8町内会および岡本町西町内会で行ってきた地域活動は活動範囲が大幅に拡大することになります。

「学区」まちづくり協議会に移行するに当たって、今まで志津南地区として行ってきた活動を学区全体活動



と若草・岡本西ブロックの地区別活動とに区分しました。各町内会の活動は基本的に何も変わるところはありませんが、各種団体にとっては活動内容によって対象者が変わることもあり得ますが、学区全体活動としての拡大に伴ってより活性化されることが期待されます。2年前、地域活動を担う

いろいろな団体が有機的に連携して活動し、住民の皆さんが協力し合っているよう自治連合会からまちづくり協議会に移行しました。この仕組みをさらに発展させ、地域課題の抽出、解決策の立案・実行を進めていくことが求められています。地域活動は一部の人たちだけで行われるものではなく、住民の皆さんのご理解とご協力が必要です。どうか皆さん

まち協の名称を変更 地区まち協から学区まち協へ

さんのお力をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

まちづくり協議会は4月1日付けで、長谷川佳子さん(前志津南市民センター職員)を事務局員に採用、

ホームページを一新

緑基調に地域らしさ発信

4月1日付けで、追分南地区3町内会が志津南地区まちづくり協議会に加入することになり、エリアが格段に広くなりました。これを機に、新しい志津南学区の様々な情報を発信していくこと、ホームページを一新しました。一層のご利用を願っています。

新しいホームページは、自然に囲まれたこの地域情報

妹尾志郎事務局長との二人体制としました。

今年度から追分南3町内会が加入、事務量の増大が見込まれることから、これに対応するために増員したものです。

事務局体制の強化により、まちづくり協議会活動を一層充実させていく所存です。

ページと並行して地域の大切なニュース源には紙媒体の「志津南ニュース」があり、創刊以来今年で十一年目を迎えます。町内のあらゆる情報が詰め込まれていると言っても過言ではありませんが、ホームページからはこれまでの紙面を閲覧することもできます。もちろん、地域のイベント情報や、会則・規則類、役員名簿などの閲覧も可能です。

さらに地域のボランティアグループの紹介なども積極的に取り上げ、学区内の様々なまちづくり活動を盛り上げていきたいと考えています。新しい志津南学区の一つの核として、より充実した内容を目指していきたいと思っておりますので、地域内の活動情報などをぜひ志津南市民センターまでお知らせください。

地域の資源回収

- 4月20日・5月4日 若草一丁目・五丁目
- 4月27日・5月11日 若草六丁目・八丁目 岡本町西
- 回収品 古新聞(チラシも可) 古雑誌・段ボール・古着

☆朝9時までに自宅前へ



やブロックなど手軽な情報発信ツールを取り込み、より新鮮なニュースを提供したいと考えています。

ホームページ

小中学校で卒業式

志津南小51人、高穂中248人

拍手に送られ校門を後に

3月は卒業シーズン。志津南小学校(埴岡美江子校長)、高穂中学校(北川健校長)でそれぞれ卒業式が行われました。先生方、在校生、父兄からの温かい祝福の拍手に送られて巣立っていきました。

未来へ感謝の言葉力強く



「未来に夢をもって生きる」「人との出会いを大切に」「何ができるか考え一歩一歩あゆんでほしい」と三つの言葉に励ましをこめた式辞を述べました。

また、奥田和奈PTA会長は「自分の力を信じ取り組んで」と祝辞を述べ、記念品を贈りました。

これに対して、卒業生は先生、在校生、父兄に向かい、6年間の思い出や感謝、そして「未来に羽ばたきます」と力強く別れの言葉を述べました。

また、全校生全員でオリジナルの詩「小さな芽を出したタケノコが春夏秋冬を駆け1本の真っ直ぐに伸びた竹に成長する様」の群読、別れの歌が会場いっばいに響きました。

このあと、卒業生たちは拍手に送られながら思い出の詰まった校舎を後にしました。

志津南小学校は第27回卒業式Ⅱ写真。式場の体育館入り口で卒業生一人ひとりが彫った魚の型に墨を流す「たらしこみ手法」で製作した額縁を迎える中、51名の卒業生は緊張の面持ちで入場しました。

国歌、校歌の斉唱に続き埴岡美江子校長から一人ひとりに卒業証書が授与されました。卒業生は名前を呼ばれると大きな声で返事し、堂々とした態度で壇上に上がりました。全員に証書を渡し終えると、埴岡校長か

大震災に思いめぐらせ



一方、高穂中学校では記念すべき第30回卒業式Ⅱ写真。この日、3月11日は東

北大震災が起こった日でもあり、卒業生248名を含む全員で黙とうを捧げました。

北川健校長は「震災の募金活動と絆が生まれみんなが誇りでした」と語りかけ、「幸せは自分の心が決める」「心の中で花を咲かせる努力をしよう」と心の持ちよう、生きか

たの大切さを説き式辞としました。

「輝きが未来へ届け」の曲が流れる中、壇上の大きなスクリーンに思い出の場面が次々と映し出され、卒業生たちは過ぎ去った中学生活をかみしめていました。

そして在校生代表の送辞、卒業生代表の答辞と続き、最後に「この地球のどこかで」「巣立ちに歌」の合唱の後、「勇猛華敢・黒土無双」など式場に飾られた8枚の団旗が見守る中、卒業生は大きな拍手に送られ巣立っていきました。

お別れボウリング大会

志津南地区子ども会は3月25日、今年度最後の行事「6年生お別れ会」を行いました。今年14名が参加

アクト草津内のエースレーン草津でボウリングを2ゲーム楽しみましたⅡ写真。ゲームでは、さすが6年生、力強い投球が見られました。スベアやストライクを出した時には、「おお!」「やったあ!」などの歓喜の声で盛り上がっていました。

体力がつき、元気いっぱいの子ども達からは、「3ゲームしたかった」との声が多く聞かれました。昼食をとったビッグポイントでは、ハンバーグセットにおかわり自由のカレー・サラダ・スープ・ドリンクバーがついていて、みんなのもりもり。帰りは路線バスに乗り、志津南市民センターまで帰ってきました。思い出に残る楽しい交流会になったようです。



級生へのお手本を見せて頂きありがとございました。中学校へ行っても勉強やス

ポーツに頑張ってください。(子ども会)

CATV検討委が最終報告書

ケーブルテレビの今後のあり方を検討していたCATV検討委員会（上田恒章委員長、6人）は2月9日、まちづくり協議会理事会上に最終報告書を提出しました。同理事会から諮問を受け、昨年6月から12月までの7か月間にわたって論議を重ねまとめたものです。

理事会では、この「最終報告書」に基づき、今後は常設の「CATV運営委員会」を新設、検討委員会で詰めきれなかった告知放送基準の見直し、商業放送利用料の活用方法、セキュリティ点検の進め方等について、引き続き検討していくこととしました。

最終報告書の概要は、次の通りです。
一、テレビ受信について
元々、グリーンヒル地区はテレビ放送難視聴地域であるため、CATVによる配信が開始された経緯があるが、全戸でのアンテナによる受信の可能性は証明されていない。さらに、各地の地区計画・建築協会で、

屋根へのアンテナ設置が許可されていないことで、現状では今まで通りCATV一本で進めることが妥当であると考えられる。
二、セキュリティシステムについて
ここ最近行われていなかった住宅内設備の点検が、2月から全戸を対象にして実施されることになった。
三、告知放送について

現在運用中の「告知放送運用基準」で基本的には問題ないと考える。一部住民から、コマmercial放送が疎ましいとの発言もあるが、多くの住民の声を聞かなければ判断できないので、今後住民アンケートを実施するのが望ましい。
四、その他
今回の検討委員会では、現状問題の把握と対策案



(午前8時頃)

今月から写真シリーズ「かがやき通り」をスタートさせます。わが町のメインストリート「かがやき通り」（市道野路若草線）は、大津市上田上平野町から草津市野路町までの全長約5キロの都市計画道路です。グリーンヒル若草の入口が始まって約30年、人が増え、沿線の風景も様変わりしました。そんな町のたたずまいをかがやき通りを中心にカメラで切り撮ってみようというわけです。見慣れた風景も、「あれっ」と思うカットも、いろんなアングルをご覧ください。写真は地域在住のアマチュア写真家にお願いしました。どなたかは最終回のお楽しみとおきます。

ひと昔前は走る車もまばらで、交差点は点滅信号で事足りるほどだったかがやき通り。が、今ではほらんの通り、ラッシュ時には車が数珠つなぎ、交差点を通過するのに信号待ちが数回に及ぶことも珍しくなくなった。



（午前8時頃）



将來課題の創出等について、時間的にも未消化となった。今後は、新たな委員会を立ち上げて、諸課題に取り組みたい。
新旧合同の理事会開催
3月29日に新年度の理事予定者を加えた合同理事会が開催され、まちづくり協議会の平成26年度定時総会に付議する議案について審議されました。

- 議案は次の通り第6号まであります。
- 第1号議案 平成25年度活動報告
- 第2号議案 平成25年度決算報告および監査報告
- 第3号議案 会則改正(案)
- 第4号議案 平成26年度役員選出(案)
- 第5号議案 平成26年度活動計画(案)
- 第6号議案 平成26年度予算(案)
- 予算案に関しては、現正副会長3名と新正副会長予定者2名(4名のうち2名は再任)の計5名で、予算調整会議を2回実施しました。

1回目は3月22日に検討資料に基づき審議して、4つの団体についてヒアリングを行うこととし、2回目の3月26日に、活動内容と予算についてヒアリングを行い、一部修正することとしました。この結果を基に予算案が作成されました。この日の合同理事会で全議案が承認されましたので、4月20日の定時総会に付議されます。

こよみ

- 4月15日(火)
 - ★狂犬病予防注射
13:40~14:30
- 4月19日(土)
 - ☆健康ウォーキング(若寿会)
8:15 若草中央公園集合
- 4月22日(火)
 - ★地域サロン:懐メロを歌う会
10:00~11:30
- 4月26日(土)
 - ☆社会奉仕
8:30 若草中央公園集合
- 5月3日(土)
 - ☆健康ウォーキング(若寿会)
8:15 若草中央公園集合
- 5月13日(火)
 - ★地域サロン:懐メロを歌う会
10:00~11:30
- 5月14日(水)
 - ★狂犬病予防注射
10:25~11:00
- 毎週金曜日
 - ☆ふれあい喫茶(お茶の間)
10:00~12:00 五丁目集会所

★印の場所は志津南市民センター(公民館)です



子育てGお別れ会

志津南学区子育てグループ「おやっこクラブ・ひよっこクラブ」が合同で3月6日に、また追分南子育てサロンも同13日にそれぞれお別れ会を開きました。「おやっこクラブ・ひよっこクラブ」は志津南市

民センターで親子40組が参加し、にぎやかな楽しい時間を過ごしました。

まず「ごあいさつ」の歌のあと、色紙で輪つなぎの首飾りを親子で作成完成させると首にかけて走り回っていました。

そして風船遊びで体を動かしたあと、本の読み聞かせが始まると、保育園・幼稚園へと巣立つ子ども達は静かに聞いていました。

一方、かみやきの丘子育てサロン「きらりん」はかがやきの丘会館で20組あまりの親子と地域の高

齢者「なごみ会」の皆さん10人が参加して開きました。

当日は「おひさま楽団」を招き歌や演奏、パネルシアターなど楽しめました。珍しい楽器に触って音が出ると満足そうな笑顔を見せていました。最後は好きな楽器を手に親子と高齢者全員で楽団の演奏とともに「おもちゃのチャチャチャ」が上手に合奏出来ました。(民児協)

やすらぎ閉講式

志津南市民センター主催第10回やすらぎ学級「閉講式&お楽しみ会」が3月12日に彦根で開催され、学級生25名が参加しました。写真。前半は今年度を締めくく

る年間活動報告や各サークルの活動報告を行い、11名の方に皆勤賞が授与された後、新年度の運営委員長・副委員長を選出し閉講式を終えました。後半は、昼食を兼ねたお楽しみ会で、サークル別合唱に始まり、個人発表ではカラオケでデュエットを歌



う方もありました。「白虎隊」という歌謡詩吟も披露され、またサキソフォンで「荒城の月」などの演奏もあり、参加者による様々な特技や出し物が大いに会場を沸

かせました。最後に「ジャンケン体操」が開催され、全身を使ってグー、チョキ、パーを表現し、号令に素早く反応できるかを競い、参加者も「はっ! よっ!」と全身でバランスを取りつつ、張り切って挑戦していました。和やかに語らい、歌い、大いに笑って、1年を振り返り、新年度のやすらぎ学級を楽しみにしつつ彦根を後にしました。

市民センター人事

草津市は4月1日付けで志津南市民センター(公民館)の人事異動を発令、澤田尚江社会教育指導員が南笠東市民センター(公民館)へ異動、新たに山口陽子さんが着任しました。よろしくお願ひします。なお、長谷川佳子社会教育指導員は3月31日付けで退職しました。

折々の記



還暦を迎え一年が経とうとしている。仕事は徐々に減らしているが、まだ現役を継続しているのであまり実感はなかった。しかし、今思えばやはり還暦という歳は、人生の節目としてひと区切りつけて人生を振り返り、これからの人生後半のありかたを考える時だと思ふ。

生活面においては、現役引退く地域・社会貢献く隠居。身体の変化として、初老期く老年期、加齢により生活上出来ないことが徐々に増えてくる物忘れ、障害(病気)も出てくる。今後どのように生きるの

平穏死

かを考えるのと、どのような最期を迎えたいかを考えることは同じことであるように思う。最近、「平穏死」という言葉に出会った。「尊厳死」「安楽死」という言葉はよく耳にするがこの言葉は何ぞや、

臓器提供の意思表示は、運転免許証や健康保険証に意思表示欄があり、自分の意思を伝えることができる。自分がしっかりしているうちに家族に伝え、これからの日々を平穏で充実したものにするための「生」を大切にしておくことを還暦からの生き方としたい。(KH)